

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 19日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部	専任講師	田中 貴子
研 究 題 目	第二言語学習者の学習意欲の変化：教師の役割と影響について	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究課題は、<u>日本人英語学習者(大学生)の motivation の変化に対する教師の影響・役割</u>である。具体的な研究課題は以下の 4 点とし、それぞれに対する分析結果を記す。</p> <p>(1) 大学生の英語学習に対する motivation は、6ヶ月という期間内に変化するか？→ motivation は変化していた。</p> <p>(2) 変化が生じる場合、その変化をもたらした主要要因は何か？また、変化が生じない場合、その motivation 維持に関わる主要要因は何か？</p> <p>→ 変化をもたらした要因としては、様々なものがあげられる。例えば、クラスメートや教員、教材への興味、体調など。中でも学習者の物の考え方、とらえ方が要因として大きいのではないかと推測できる。</p> <p>(3) 大学生の英語学習に対する motivation の変化及びその維持に関して、教師はどのように関わっているのか？→ 教員の影響はやはり見受けられたが、本研究参加者においては、教員よりもクラスメートや友人関係のほうが影響としては大きいようであった。大学という環境が、この結果の要因に影響を与えているかもしれないと推測される。</p> <p>2010年度、学会発表を予定している。</p>	